

# 酒田レインボーロード 作戦

オムライス



事故ゼロの街

# 事故ゼロの街

誰もが安心して移動できる酒田市

理想と現状のギャップ

①件数自体は多くない 他地域と比べて突出はしてない

②見逃せない現状がある

- ・高齢社会の中、高齢者が関わる事故が多い
- ・死亡事故がゼロではない
- ・車社会のため、事故の潜在的リスクが高い

事故の「多さ」よりも事故が起きた時の  
「重さ」と「影響」が大きい

# 原因

高齢化率が高い

判断能力の低下

わかりにくい道路

見通しが悪い

歩道が狭い

マナー・ルール  
守れてない

運転が荒い

大学生多い  
(免許取りたて)

## 解決すべき課題

- 高齢者の事故を減らすには
- 不注意を減らすためには
- 道路環境をよくするには

解決策

レインボーロード



# 光らせる仕組み

車線やカーブ、交差点、横断歩道など

特に注意が必要な場所を中心に

→どこに注意すべきかが自然に伝わる

→文字を読まなくても視覚的に理解できる

# 音の仕組み

音によって運転者に注意を促す

視覚情報だけでは気づきにくい場合

→音が補助的な役割を果たす

視力に不安がある人

→音が重要な情報となる

# 時間帯によっての使い方

昼間 周囲が明るく交通量も多い

→光は強くしすぎず、必要に応じて音による注意喚起

夜間 視界が悪くなる

→光を目立たせる 音は小さめ

# 天候に左右されにくい

雨や霧、雪などで見通しが悪い状況

→光によって走路の位置や形が分かりやすくなる

# 期待される効果

①事故が減る

②不注意防止

→よそ見防止、音楽で寝ない、高齢者が気づきやすい

③歩行者の安全

→ユニバーサルデザインを活用(聴覚と視覚に)で誰でも



## ①事故が減る

- 大きい音で気がつきやすい
  - 光があるのでわかりやすい、目がさめる
- 事故防止につながる

## ②不注意防止

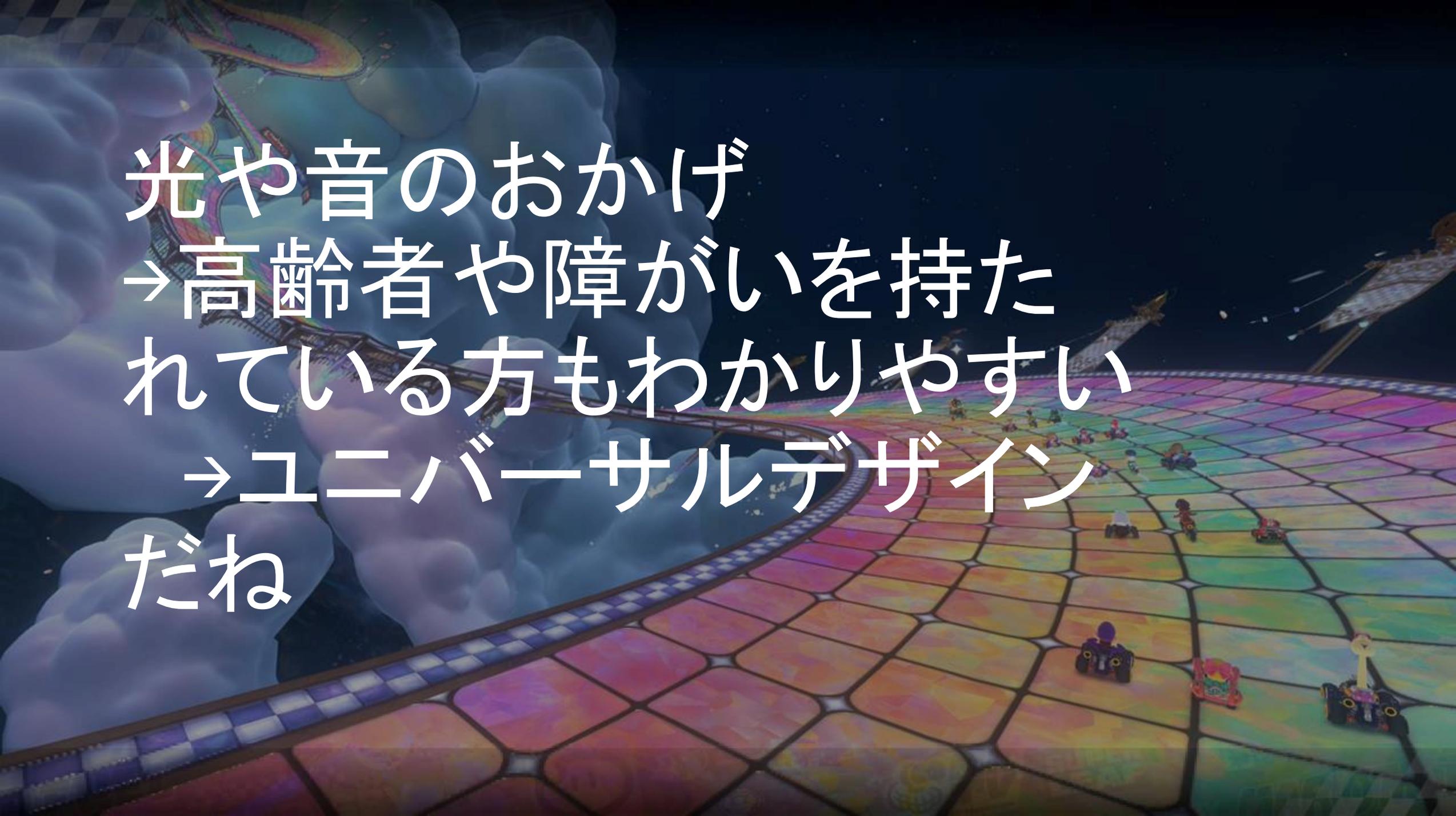
- 音、光が全身から飛び込んてくる
  - 高齢者でも気づきやすい
- 交通に関するケアレスミスを防ぐ



### ③歩行者の安全

- 車の存在に気がつきやすい
  - 車道と歩道の区別が付きやすい
- 自動車も歩行者もwinwin





光や音のおかげ  
→高齢者や障がいを持た  
れている方もわかりやすい  
→ユニバーサルデザイン  
だね

# 課題

## 1, 周囲への「迷惑」と「慣れ」

- 騒音と光害: 近隣住民にとって、夜間の音や光がストレス（不眠など）になる可能性がある。
- 刺激への慣れ: 常に音や光があると、人間はその刺激に慣れてしまい、肝心な時に注意を払わなくなる（オオカミ少年現象）恐れがある。

# 課題

## 2,コストとメンテナンス

- 膨大な費用: すべての道路に装置を置くには、設置費だけでなく電気代や修理費など、莫大な税金が必要になる。
- 故障のリスク: 雨風や雪、事故などで壊れた際、放置されるとかえって危険を招くため、維持管理が大変である。